

HUM200 文化資源論

2年 3,4クォーター

担当教員 東村 純子

授業形態 講義

単位数 2

曜日・時限 水曜日・2時限

授業概要

地域の文化資源の調査研究方法、保存活用の実態と課題を学び、行政や住民と一体となった地域の文化資源を活用した文化創生の手法と可能性について理解を深める。グローバル化が進む現代社会において、長い歴史の中で培われてきた地域の文化資源の保護・継承・活用という課題に学問の立場から取り組むことで、行政による文化資源の活用策や管理の方式について提言し、地域の人びとが共有する資源としてその価値と有用性をみいだす。

到達目標

文化資源の概念を理解し、地域の各種資源について、調査研究、活用公開というプロセスを学ぶ。情報化が進んだ現代社会における文化資源の意義についても、理解を深める。

先修科目

考古学入門(共通教養科目)

教科書・参考資料等

《参考書》 荻野昌弘(編)『文化遺産の社会学』 新曜社
西野嘉章『モバイルミュージアム行動する博物館』 平凡社

授業の方法

担当教員は講義を行い、定期的に課題を与える。適宜、少人数グループでのディスカッションを行い、双方向性を意識する。実地見学も適宜実施する。

成績評価

学生は、講義での課題について小レポートにまとめ、提出する。また、グループ・ディスカッションを積極的に行う。

成績

30% 定期の小レポート
20% 授業中のディスカッションの状況
50% 期末試験

授業スケジュール

第1回：文化資源の定義

文化財や文化遺産、文化資源について法的・行政的定義を紹介し、国際的な動向をみる。

第2回：文化資源と社会教育施設

社会教育の概念を紹介し、博物館・図書館・文書館のような施設のあり方を考える。

第3回：文化資源論の現状(1) 海外

海外における文化資源マネジメントの現状について概説する。

第4回：文化資源論の現状(2) 日本

国内における文化資源マネジメントの現状について概説する。

第5回：文化資源の収集

文化資源の収集の諸相を紹介し、問題点を明らかにする。

第6回：文化資源の整理

文化資源の整理の諸相を紹介し、データベース構築に関わる問題点を明らかにする。

第7回：文化資源の調査／文化資源と学術資料

文化資源の調査の諸相を紹介し、学術資料概念との関係課題を明らかにする。

第8回：文化資源の取り扱い

文化資源の取り扱いの諸相を紹介し、多言語化の意義についても述べる。

第9回：文化資源の情報公開

文化資源の情報公開の諸相を紹介し、インターネットの活用についても触れる。

第10回：文化資源の活用（1）

博物館・資料館を基軸とした文化資源の活用について、モバイルミュージアムといった概念も紹介しつつ検討する。

第11回：文化資源の活用（2）

地域そのものを対象とした文化資源活用について、ジオパークやエコミュージアムといった概念も紹介しつつ検討する。

第12回：現代社会と文化資源（1）国内における諸問題

現代社会における文化資源の課題について、国内の事例を紹介する。

第13回：現代社会と文化資源（2）国際的な諸問題

現代社会における文化資源の課題について、海外の事例を紹介する。

第14回：文化資源と災害

災害時の文化資源の保全について概説する。

第15回：文化資源の継承と人間社会の理解

これまでの内容をまとめ、社会の持続的発展に向けた文化資源の意義を考える。

事前・事後学習

- ① 上記に挙げた参考書を通読すること。授業中に予習用の資料を配布するので、事前の一読すること（1時間程度）。
- ② 講義内容を配布資料とともに復習し、理解を深めること。文化資源の発掘調査現場を見学した際やその他、授業中に指示する課題についてレポートをまとめること（1～2時間程度）。